

菊川市地域公共交通計画 概要版

計画策定の目的

菊川市の地域公共交通の利用者は新型コロナウイルス感染症の影響による減少後、徐々に回復傾向となっているが、今後、人口減少等による公共交通利用者の減少が懸念される中で、急速な高齢化の進展や運転免許証返納者の増加等により、地域公共交通の必要性が高まっている。

令和元年8月に策定した「菊川市地域公共交通網形成計画」は、令和7年度をもって計画期間終了を迎えるため、現計画の計画目標に基づく評価指標の達成状況や実施事業の取組状況などについて評価・検証を行い、改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」を踏まえ、現在の計画を改訂し、公共交通政策のマスタープランとなる「菊川市地域公共交通計画」を策定する。

計画区域 菊川市全域

計画期間 2026年度から2030年度までの5年間

地域公共交通の構築に係る基本的な方針

【地域公共交通に関する課題】

- ・人口減少、高齢者や学生など交通弱者への対応
- ・広域的な移動を担う鉄道・路線バス・自主運行バスの路線維持・利用促進が必要
- ・交通結節点の機能強化
- ・公共交通空白地域の解消
- ・市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供
- ・利用促進に向けた市民意識の醸成
- ・多様な主体の連携による持続可能性の確保

【地域公共交通の基本理念】

地域公共交通の維持・継続により、暮らしの質を保ち、地域を支える

【地域公共交通の構築に係る基本的な方針】

①市内外へ移動しやすく、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指す

- 鉄道や路線バス、自主運行バス、菊川市コミュニティバス、タクシー及び送迎バス等により、市民の移動実態に合った生活圏を考慮し、市内外へ移動しやすい地域公共交通ネットワークの構築を目指す。
- 菊川市コミュニティバスについて、運賃制度の見直しや、公共交通空白地域（終日、日中時間帯など）が存在する地域の解消に資するルート見直しなどにより、利用しやすい地域公共交通の実現を目指す。
- 高齢者の運転免許自主返納を促進するための支援制度の見直し等により、移動しやすい環境づくりの充実を目指す。

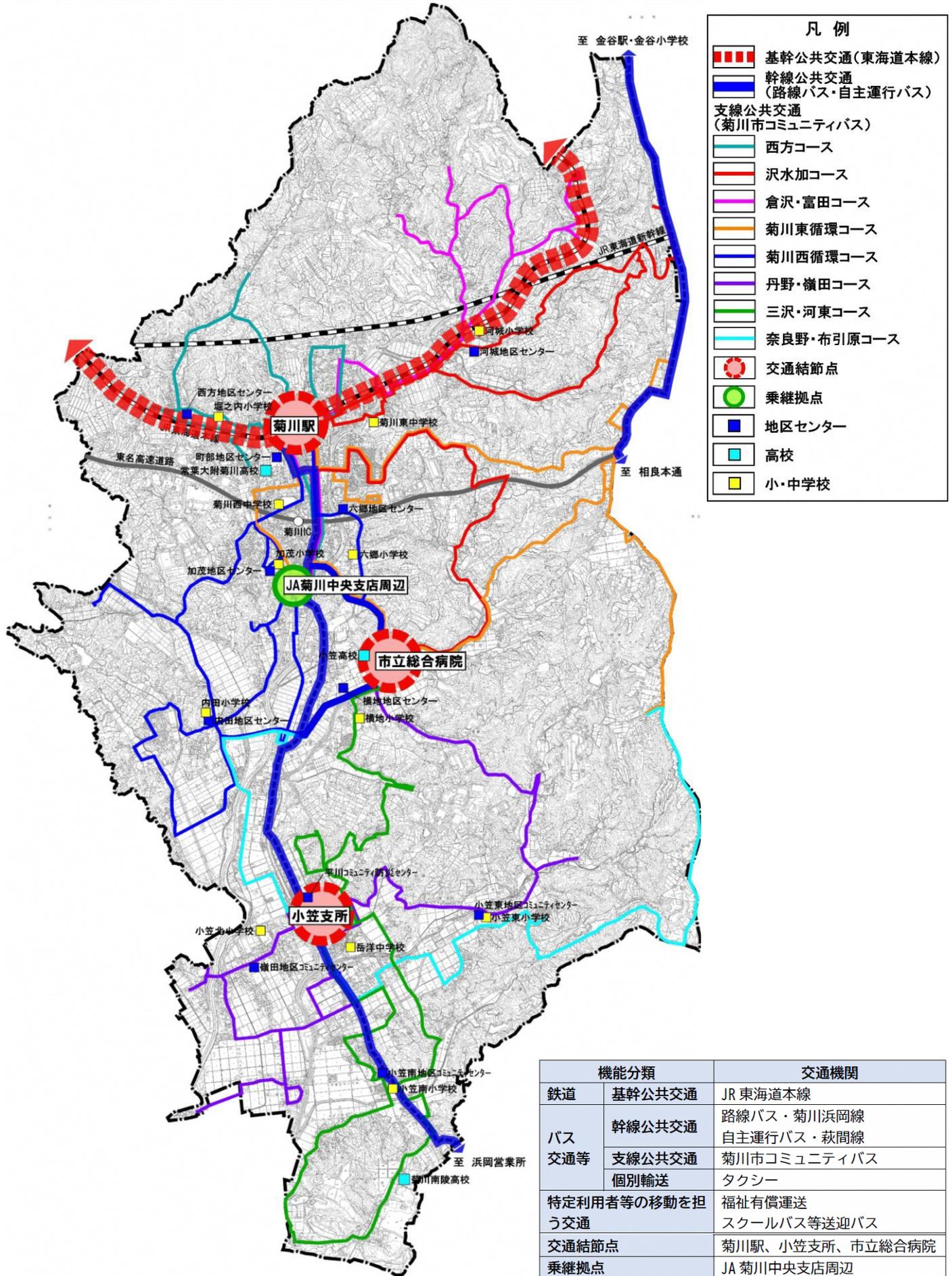
②公共交通を安心して利用できる環境を整備し、利便性向上を目指す

- 菊川駅の周辺整備事業の整備を推進しつつ、複数の公共交通機関が接続するバス停については待合空間の整備やダイヤ同士の接続強化など交通結節点の機能強化を目指す。
- 公共交通総合マップの作成・配布など、多様な情報媒体を活用するとともに、利用方法が分かりやすい「マイ時刻表」の作成等により、分かりやすい情報提供の充実を目指す。

③多様な主体・資源との連携による持続可能な地域公共交通を目指す

- 多様な主体の参画により公共交通を支え・育て・守る意識を啓発し、「乗って支える」仕組みの構築を目指す。
- 他分野・産業との連携を図りながら、地域公共交通サービスの維持や利便性向上を目指す。
- 先進技術を活用した移動の仕組みについて研究を進めながら、新たな移動手段の検討により、持続可能な地域公共交通を目指す。

公共交通骨格形成イメージ



- 凡例
- 基幹公共交通(東海道本線)
 - 幹線公共交通
(路線バス・自主運行バス)
 - 支線公共交通
(菊川市コミュニティバス)
 - 西方コース
 - 沢水加コース
 - 倉沢・富田コース
 - 菊川東循環コース
 - 菊川西循環コース
 - 丹野・嶺田コース
 - 三沢・河東コース
 - 奈良野・布引原コース
 - 交通結節点
 - 乗継拠点
 - 地区センター
 - 高校
 - 小・中学校

機能分類		交通機関
鉄道	基幹公共交通	JR 東海道本線
バス 交通等	幹線公共交通	路線バス・菊川浜岡線 自主運行バス・萩間線
	支線公共交通	菊川市コミュニティバス
	個別輸送	タクシー
特定利用者等の移動を担う交通		福祉有償運送 スクールバス等送迎バス
交通結節点		菊川駅、小笠支所、市立総合病院
乗継拠点		JA 菊川中央支店周辺

実施事業

目標①：市内外への移動しやすさ向上

【事業1】路線バス及び自主運行バスの維持及び利用促進（バス事業者、菊川市《関連主体：国・静岡県》）

路線バス（菊川浜岡線）と自主運行バス（萩間線）は、市ホームページや菊川市コミュニティバスコース図・時刻表への掲載により、運行情報提供の充実を図る。また、小学校遠距離通学費補助を引き続き実施する。

- 《スケジュール》
- ・利用促進策の検討・実施（順次）…2026～2030 年度
 - ・通学費補助の実施…2026～2030 年度

【事業2】菊川市コミュニティバスの再編（菊川市、タクシー事業者《関連主体：地域》）

路線バス（菊川浜岡線）の日中時間帯（8時～15時台）で運行していない区間（菊川警察署東～土橋）について、菊川市コミュニティバスのルート変更などの再編を行う。

また、バス停の新設やフリー乗降・フリー降車区間の拡大について、交通事業者や警察などの関係機関や、バス停付近の地権者と協議・調整を図りながら検討する。

菊川市コミュニティバスの運賃について、要支援認定者や運転経歴証明書交付対象者等への免除内容の拡充を行うほか、将来的な運賃見直しの検討を行う。さらに、中心市街地への移動を支援する公共交通の運行拡大について検討する。



- 《スケジュール》
- ・運賃の見直し検討・実施…2026～2030 年度
 - ・再編検討・実施…2026～2030 年度

【事業3】JR 東海道本線の利用促進（鉄道事業者、菊川市《関連主体：国・静岡県》）

現在整備中である菊川駅の周辺整備事業（2022～2027 年度）を進めるとともに、旅行者の誘客促進、利用者の利便を図るため、「さわやかウォーキング」等各種イベントとの連携による利用促進を実施する。

- 《スケジュール》
- ・菊川駅整備促進…2026～2027 年度
 - ・イベント企画・開催…2026～2030 年度

【事業4】高齢者など移動支援の充実（タクシー事業者、菊川市《関連主体：菊川警察署、企業》）

「運転経歴証明書」交付手数料の全額補助を実施するとともに、「運転免許自主返納者等サポート事業」について周知やサポート店の拡充等について検討・実施する。

- 《スケジュール》
- ・全額補助の実施…2026～2030 年度、制度拡充検討…2027～2030 年度

目標②：利用しやすい公共交通環境の整備

【事業5】交通結節点の機能強化（菊川市《関連主体：鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者》）

交通結節点及び乗継拠点について、乗り場での行き先表示の情報提供の改善や、各交通機関の乗継案内、待合空間の整備について充実を図るとともに、サイクル&バスライド駐輪場の整備や、乗継がしやすいダイヤ設定について検討する。

- 《スケジュール》
- ・整備内容検討・調整、実施（順次）…2026～2030 年度

【事業6】利用しやすい車両の導入促進（バス事業者、タクシー事業者、菊川市《関連主体：国・静岡県》）

路線バス、タクシー車両について国や静岡県の補助制度を活用し、乗降が容易で立席及び着席がしやすいノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーなど、乗降しやすい車両の導入を進める。

- 《スケジュール》
- ・更新検討・順次導入…2026～2030 年度

【事業7】運行情報提供の充実（菊川市《関連主体：鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者》）

「公共交通総合マップ」を作成し、広く配布するとともに、菊川市コミュニティバスについてコースごとの分かりやすい時刻表を配布する。また、利用したい停留所・駅と時刻のみを記載した「マイ時刻表」を作成・提供する。さらに、「GIFS（バス情報オープンデータ）」について、菊川市コミュニティバスの再編や路線バス等のダイヤ見直し等に合わせて、データ更新を継続的に実施する。

- 《スケジュール》
- ・公共交通総合マップ作成・配布…作成・配布：2026 年度、周知 P R：2026～2030 年度
 - ・マイ時刻表の作成…内容検討・調整：2026 年度、実施：2027～2030 年度
 - ・GIFS のデータ更新…実施（再編に合わせて）：2026～2030 年度

目標③：地域全体で支える公共交通網の構築

【事業8】公共交通利用促進活動の実施（バス事業者、菊川市、静岡県《関連主体：地域》）

バス乗り方教室を実施するとともに、2024年度から静岡県で実施中の「小学生バス無料デー」について、県と協力しながら実施する。

- 《スケジュール》 ・バス乗り方教室の開催…実施（随時）：2026～2030年度
 ・小学生バス無料デーの導入…実施：2026～2030年度

【事業9】運転手の確保策の実施（バス事業者、タクシー事業者《関連主体：菊川市》）

交通事業者として積極的な企業努力を促しながら、バスやタクシー運転手に特化した就職イベントの開催、市ホームページや広報誌への掲載など、確保策について検討する。

- 《スケジュール》 ・イベント検討、調整：2026年度、実施：2026～2030年度

【事業10】他分野・産業との連携（バス事業者、タクシー事業者、企業、地域、菊川市）

従業員送迎バスの市民利用について周知PRと拡大を検討する。商業施設と連携した割引サービス等の導入を検討・実施する。菊川市コミュニティバスについて貨客混載の実現可能性を検討する。

- 《スケジュール》 ・地域の輸送資源の活用…周知PR、拡大検討：2026～2030年度
 ・割引サービスの導入…企画検討：2026～2027年度、実施：2028～2030年度
 ・貨客混載の検討…2026～2030年度

【事業11】先進技術の導入に向けた研究（菊川市《関連主体：バス事業者、タクシー事業者、地域》）

近隣自治体との連携を見据えながら、MaaSの活用やAIを活用したサービスなど先進技術の導入に向けた調査・研究を行う。また、先進技術の進歩や整備費用等の条件を考慮し、AIデマンド、公共ライドシェア、自動運転バスなどによる移動の仕組みの検討と、コミュニティバスへの可能な技術の取り入れについて検討する。

- 《スケジュール》 ・調査・研究…2026～2030年度

計画目標の達成状況を評価するための評価指標

■評価指標及び目標値

評価指標	指標の定義	現状値	目標値(2030年度)
①公共交通利用者満足度	運行サービス満足度（利用者）	43.0%	50%
②市民の地域公共交通の利用割合	路線バス利用者割合	12.3%	12.3%
	菊川市コミュニティバス利用者割合	6.8%	8.0%
	タクシー利用者割合	27.5%	27.5%
③外出する際の困り具合の割合	外出時に困る人の割合	50.7%	45%
④菊川市コミュニティバス利用者数	1日平均利用者数 ※第3次菊川市総合計画の目標値	178人/日	186人/日
⑤菊川駅利用者数	1日平均乗降客数 ※第3次菊川市総合計画の目標値	7,627人/日	7,876人/日
⑥公共交通利用圏域の人口割合	鉄道駅より半径800m以内、バス停より半径300m以内（フリー乗降区間含む）の人口割合	85.8%	90%
⑦交通結節点整備箇所数	待合空間や運行情報案内等の整備箇所数	2箇所	4箇所
【確認指標】菊川市コミュニティバスに係る行政負担額・収支率	市民1人当たり行政負担額	661円（2024年）	
	収支率	21.0%（2024年）	

■評価スケジュール ※必要に応じて適宜計画・目標値の見直しを実施

項目		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○	○
	市民アンケート調査					○
事業実施状況の評価		○	○	○	○	○
目標達成度の評価						○
計画・目標値の見直し※						○
菊川市地域公共交通会議の開催		○	○	○	○	○